



特集

「おおいた子ども食堂ネットワーク」設立



Twitter

やっています

facebook

ぜひ登録をお願いします

大分県社協

検索

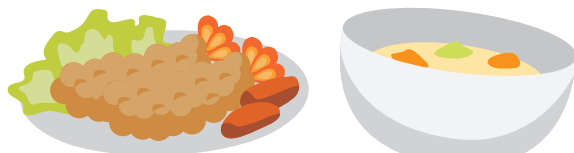
<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています

- 子ども食堂運営・支援者研修会
- 大分県ボランティア連絡協議会／フードバンク視察
- 豊の国ねりんピック「美術展」「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」
- 第39回大分県ゆうあいスポーツ大会
- おおいた“くらしサポート”事業報告
- 運営適正化委員会／新任担当職員研修会（あんしんサポート）
- 平成30年度事業報告／平成30年度総務決算統計／賛助会員
- 「あすびあ倶楽部」スタート
- 「赤い羽根自動販売機」の設置協力者募集
- 介護・保育の再就職準備金貸付のお知らせ
- 社会福祉協議会からの電話に対する注意喚起

新時代の幕開けと共にスタート！



「おいしい子ども食堂ネットワーク」設立

県内に子ども食堂が60か所を超え、今も各地にさまざまな形で広がっています。

本会では、平成28年より子ども食堂への支援を進めてきましたが、食堂を運営している皆さんからの『食堂間だけではなく、地域のいろんな団体ともつながりたい』という声を受け、また、同時に食堂を運営する方々だけではなく、食堂という「拠点」を通じて、より多くの皆さんがお互いの思いやりや支え合いといった「地域のきずなの再構築」を目指し、地域共生社会を推進するため、令和元年5月「おいしい子ども食堂ネットワーク」を設立しました。

1 ネットワーク設立までの道のり

- 子ども食堂運営者が集い、情報交換をする連絡会の開催(平成28年～年2回実施)
- 子ども食堂運営者・支援者に向けた研修会の開催
- 子ども食堂に関する運営・新規開設相談 など

子ども食堂運営者・支援者からは

社協や民生委員さん
自治委員さんとの
つながりが必要！

行政や地域との
つながりが大切！

学校や教育委員会
との連携は必要！

みんながつながる「おいしい子ども食堂ネットワーク」設立!!

2 ネットワークの活動

- **地域のネットワークを作っていく支援**
各市町村の子ども食堂ネットワークの立ち上げと、運営支援。
連絡会(交流会)や研修会の企画など。
- **企業や団体との協働**
フードバンクなどと連携して、物品・サービスの寄付仲介、社会貢献事業の提案、助成事業の情報提供。
- **調査研究**
子ども食堂か所数調査をはじめとした、子ども食堂の意義や価値を伝える調査研究。

3 ネットワークの構成

運営会員

大分県内で、子ども食堂の実践を行っている団体。子ども以外の参加者の有無や、法人格の有無は問いません。「子ども食堂」という名称でなくても良いです。

応援会員

子ども食堂の活動に関心があり、子ども食堂に人的または物的に支援を行う個人・団体をいいます。(どなたでも登録できます。)



4 ネットワークの今後について

子ども食堂の輪を広げ、食を通じた新しいつながりから、だれもが安心して暮らせる社会を築くことを目指して、つぎのことを目標としています。

- (1) 継続的な活動にするための、人・物・資金の確保。
- (2) 地域の様々な支援者(自治会など地縁団体、学校、企業)や行政(保健所)との連携。
- (3) 子ども食堂を、小学校区に1～2か所本当に支援を必要としている家庭に届くように作る。

5 ネットワーク設立式の様子

6月21日、県内各地から約70名の参加を得て、「おおいた子ども食堂ネットワーク設立式」を行いました。式には、本会のマスコットキャラクター「だいふくん」も参加しました。



ぼくは、
おおいた子ども食堂
ネットワークの応援団長
なんザイ！



今後、すべての子どもたちが希望を持って成長していくことができる社会の実現を目指して、「地域ぐるみの子育て支援の輪」を広げていきます。



災害時はビニール袋で調理！ 子ども食堂運営・支援者研修会開催！

「おおいた子ども食堂ネットワーク設立式」と同日に、今年度第1回目の「子ども食堂運営・支援者研修会」を行いました。講師に立松 洋子先生(別府大学短期大学部 食物栄養科 学科長)をお招きして、食品衛生や災害時の食事づくりについての研修を実施しました。

研修では、立松先生ご指導のもと、参加者が実際にビニール袋での調理に挑戦しました。シンプルな作業工程なのに、でき上がりはあったかくて美味しい！災害が起きた時でも、今回の調理方法を覚えていればバランスのとれた食事ができる、という先生の説明に、参加者・スタッフ一同、驚きでした。

もし、子ども達が子ども食堂にいる時に災害が起きたらー。そんなもしもに備えて、しっかり学んだ研修会でした。



令和元年度

大分県ボランティア連絡協議会 総会・研修会



5月20日、大分県総合社会福祉会館で、「令和元年度 大分県ボランティア連絡協議会 総会・研修会」を開催しました。ボラ連をはじめ、会員、社会福祉協議会職員など71名の方にご参加いただきました。午後からの研修では、熊本県西原村議会議員 堀田直孝氏をお招きし「住民共助による避難所運営」と題し、講演していただきました。講演から、発災後の72時間を生き抜くための自助・共助力の大切さと、平時からコミュニティー活動に参加し顔の見える関係性を構築する事が地域力・減災力を高めるために重要な事であると実感しました。



県議会の委員会が フードバンクおおいたを視察



6月26日、大分県議会福祉保健生活環境委員会の委員の皆様が、県内所管事務調査として市民活動支援部のフードバンクおおいたを視察しました。お見えいただいたのは、森誠一委員長以下7名の委員の方々です。全国的にフードバンクが注目されてきたことや、食品ロス削減の推進に関する法律が成立した直後ということもあり、委員の関心は非常に高く、熱心に質問されていました。



フードバンクおおいたでは、「もったいない」を「ありがとう」に！、をキャッチフレーズに食料品の寄贈をお願いしています。特に現在、在庫の少なくなってきたお米やレトルト食品、缶詰などの寄贈をお願いいたします。



フードバンクおおいた

大分市大津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館2F TEL 097-558-3373

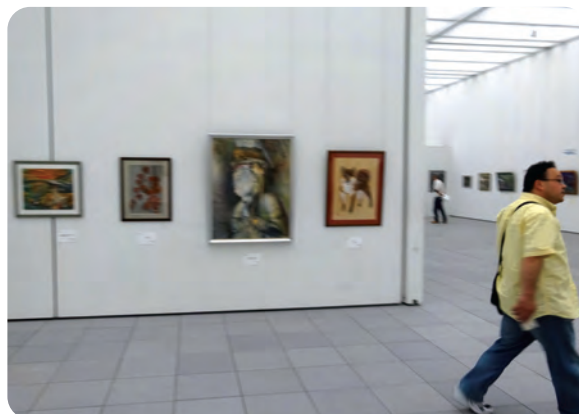
第30回記念豊の国ねりんピック

「美術展」「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」を開催

去る5月14日～19日の間、大分県立美術館 OPAM 1階展示室で「美術展」「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」を開催しました。

今年で、30回目という節目の年の開催となりました。

県内各地の皆様から出展していただいたすばらしい作品(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の部)223点、短歌・俳句・川柳入選作品36点、おおいた大句会(写俳)入選作品6点を期間中展示しました。



5月18日にOPAM 1階アトリウムで表彰式を行いました。

主催者、美術展の各部門の受賞者、短歌・俳句・川柳の入選者とその関係者等約100名が集まりました。

今回の「美術展」で最優秀賞を受賞された作品(各部門2点計12点)は、11月9日(土)～12日(火)和歌山県で開催される「第32回全国健康福祉祭和歌山大会」美術展の大分県代表として出品します。

美術展最優秀賞受賞者一覧

部 門	賞	題 名	作成者名	市町村名
日 本 画	最優秀賞	夏の城下町	矢川 満利	大分市
		ねぎぼうず	中山 スエ子	大分市
洋 画	最優秀賞	遊戯三昧	中根 靖子	宇佐市
		自然の恵	井口 章	日出町
彫刻・彫塑	最優秀賞	ゴルフスイング3体	児玉 夏生	竹田市
		雑木林と白馬	財津 晴喜	日田市
工 芸	最優秀賞	練込麦文花器	渡辺 尚義	国東市
		花舞	藤澤 節子	別府市
書	最優秀賞	高青邱詩	梅本 輝子	中津市
		萬葉歌 3首	橋本 俊子	大分市
写 真	最優秀賞	冬の鍋ヶ滝	熊谷 明	竹田市
		里の秋	山中 和枝	中津市



第39回 大分県ゆうあいスポーツ大会を開催しました!!

～ 令和最初の大会！熱戦！～

大分県と大分県知的障害者施設協議会は、令和元年6月8日(土)、昭和電工ドーム大分において「第39回大分県ゆうあいスポーツ大会」を開催しました。

本大会は、県内の知的障がいのある施設利用者がスポーツを通して、体力の向上と融和を図ること、一般社会の理解を深め「完全参加と平等」の実現を目的としています。歴史ある本大会も39回目を迎えました。

当日は、晴れ。100m走、フライングディスク、400mリレーなど各種競技を実施しました。県内50施設、1,702名の参加があり、大会新記録こそ出なかったものの、トラック競技では僅差の勝負、フライングディスクでは優勝決定戦が実施されるなど熱戦が繰り広げられました。

本大会では、ボランティアとして大分県障害者フライングディスク協会、ボランティア西の洲、大分介護福祉士専門学校、大分高校吹奏楽部、大分県立大分南高等学校など多くの皆様のご協力により開催することができました。本当にありがとうございました。



おおいた“くらしサポート”事業の展開 事業報告

～ がんばってます！社会福祉法人！～

おおいた“くらしサポート”事業では、社会福祉法人のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が、生活にお困りの皆様に対して県内各地で相談支援、経済的援助活動を展開しています。経済的援助活動では、食料品を提供したり、光熱水費用を支援するなど必要に応じた現物給付を展開。平成27年7月スタートから平成31年3月までの累計額は、約1,300万円。フードバンクおおいたを通じて、市町村社協等へ「緊急食料品セット」の提供なども行っています。

この事業は、趣旨に賛同する社会福祉法人が拠出金を出し合って運営する「地域における公益的な取り組み」です。

これからもお近くの社会福祉法人の活動にご理解をよろしくお願いします。

ご相談はコチラまで

くらしサポート電話窓口(拠点施設)

大分県社会福祉協議会	大 分 市	097-515-7789
相談支援事業所ハーモニー	大 分 市	097-597-8828
児童家庭支援センターゆずりは	大 分 市	097-574-8525
茶寿苑	別 府 市	0977-66-5021
石垣一燈園	別 府 市	0977-21-2228
いずみの園	中 津 市	0979-64-9063
相談支援事業所はぎの	日 田 市	0973-24-4000
高齢者総合福祉施設緑の園	臼 杵 市	0972-63-2762
特別養護老人ホーム偕生園	豊後大野市	0974-34-3801
大分県湊泉寮	日 出 町	0977-72-2521

※ 生活保護受給者は、公的支援があることから対象外です。

※ 支援期間や経済的援助金額には、目安となる上限があります。利用料は無料。まずは、ご相談ください。



あなたの施設、 苦情を活かしていますか？

～経営者による苦情解決が求められています～



社会福祉法82条に「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない。」とされています。また、厚労省からも「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」が発出されています。

その中、苦情解決体制として以下のように定められています。

- 1 苦情解決の責任主体を明確にするため、施設長、理事等を「**苦情解決責任者**」とする。
- 2 サービス利用者が苦情の申出をしやすい環境を整えるため、職員の中から「**苦情受付担当者**」を任命する。
- 3 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、「**第三者委員**」を設置する。

また、設置するだけでなく、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の氏名・連絡先等、苦情解決の仕組みを施設内へ掲示したり、パンフレットの配布等により、利用者や家族に周知することが求められています。

利用者本位の福祉サービスの実現には、利用者と福祉施設・事業所の対等性と信頼関係の構築が必要であり、そのための手立ての一つが「苦情解決」です。苦情解決の取組を通じて、適切な福祉サービスへの改善に結びつけることにより、自らが提供するサービスの質の向上、また、福祉サービスを担う職員の資質向上につなげることができます。苦情への適切な対応は、利用者や家族、地域からの信頼を得ることにつながります。



新任担当職員研修会 を開催しました！

6月6日に、日常生活自立支援事業(あんしんサポート)を今年度から担当する市町村社協の方を対象に、新任担当職員研修会を開催しました。

日常生活自立支援事業の制度説明、専門員としての役割などを学習し、学習した知識をもとに事例検討を行いました。

事例検討では、県社協で歴代あんしんサポートを担当してきた職員2名がオブザーバーとして参加し、新任担当の皆さんへのアドバイスや、新任ならではの不安や疑問にお答えしました。

参加者からは、「同じ悩みを持つ方と共有できてよかった」「事例検討も含めて、楽しく学習できたので今後の業務に活かしたい」などの前向きな感想をいただきました。

今回の研修がこれからの業務に活かされ、大分県内の権利擁護体制強化につながればと思います。



総務・企画情報部

- ①県総合社会福祉会館の運営(利用人数 22,829人)
- ②民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施(加入者 9,365人)
- ③県社協第四次中長期活動計画(だいふくプラン2018)の進行管理
- ④ホームページを利用したわかりやすい情報提供

地域福祉部

- ①社会福祉協議会の活動強化への支援(地域福祉推進委員会・各部会の開催等)
- ②地域共生社会実現に向けた市町村社協・行政関係者等への研修会・会議の開催
- ③生活困窮者自立支援制度への対応支援(生活困窮者就労支援協議会の運営等)
- ④民生委員・児童委員活動との連携(各種会議・研修会の開催)
- ⑤買い物困難者支援のための官民協働による包括連携
- ⑥第13回大分県地域福祉推進大会の開催(参加者 約2,000名)
- ⑦子どもの居場所を中心としたネットワークの構築
- ⑧子どもの居場所づくりへの支援(子ども食堂連絡会の開催、各種研修会実施)
- ⑨日常生活自立支援事業の推進(相談件数 291件)
- ⑩法人後見体制の整備支援(広域型権利擁護センターの設置)

市民活動支援部

- ①ボランティア・市民活動の推進(コーディネーター研修、リーダー養成講座)
- ②市町村ボランティア・市民活動の支援(出前講座の開催)
- ③いきいきセカンドライフインターンシップの開催
- ④ボランティア・市民活動の啓発促進(ボランティア・NPO推進大会の開催)
- ⑤災害ボランティア活動の推進(災害ボランティアネットワーク連絡協議会等)
- ⑥ふくしまっ子応援プロジェクト8の実施
- ⑦豊の国ねりんピックの開催、第31回全国健康福祉祭とやま大会への参加
- ⑧生きがいと健康づくり事業の普及・啓発
- ⑨フードバンクおおいたの推進(寄贈食品18.7トン、提供食品17.1トン)
- ⑩フードドライブ、フードバンクキッチン開催、広報・周知活動
- ⑪子ども食堂への食料支援(米、調味料その他)

福祉資金部

- ①生活福祉資金貸付事業の運営(貸付件数 785件 179,767,000円)
- ②新たな貸付事業の取り組み(貸付件数 258件 222,327,620円)
- ③債権管理強化推進事業(償還指導の実施、研修会の開催)

施設団体支援部

- ①種別協議会運営支援(各種研修等の実施)
- ②大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定に基づく被災施設への支援等
- ③社会福祉施設経営支援事業の実施(経営支援事業、各種セミナーの開催)
- ④大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催(3回)
- ⑤おおいた“くらしサポート”事業の推進
- ⑥地域における公益的な取組支援(助成事業、啓発セミナーの開催等)
- ⑦社会福祉法人の地域公益活動の発信事業の実施(事例集VOL3の発行・配布等)
- ⑧評価・調査実績(第三者評価6件 地域密着型サービス等外部評価 36件)

社会福祉介護研修センター

- ①介護実習・普及センター事業(介護研修会の開催 延べ 8,152人参加)
- ②高齢者総合相談事業(相談件数 4,874件)
- ③福祉人材センター事業(就職相談件数 2,900件 就職者数 73人)
- ④社会福祉関係職員等研修(延べ 3,680人参加)
- ⑤介護支援専門員実務研修受講試験の実施(受験者数 495人、合格者数 69人)

身体障害者福祉センター

- ①各種教室の開催(参加者 3,687人)
- ②自主教室・講座等の開催(参加者 670人)
- ③各種大会の開催(参加者 620人)
- ④ボランティアの育成(31年3月現在 45人)
- ⑤あすぴあフェスタ2018の開催(来場者 延べ1,898人)

平成30年度決算（一般会計のみ）

収入

	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)
事業活動収入	697,323,000	716,672,258	△ 19,349,258
施設整備等収入	10,000	10,000	0
その他の活動収入	2,378,866,000	2,269,630,493	109,235,507
前期未支払資金残高	193,757,000	193,757,002	△ 2
収入計	3,269,956,000	3,180,069,753	89,886,247

支出

	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)
事業活動支出	932,771,000	913,066,373	19,704,627
施設整備等支出	13,748,000	13,448,670	299,330
その他の活動支出	2,131,706,000	2,057,546,058	74,159,942
予備費	10,000,000	0	10,000,000
支出計	3,088,225,000	2,984,061,101	104,163,899

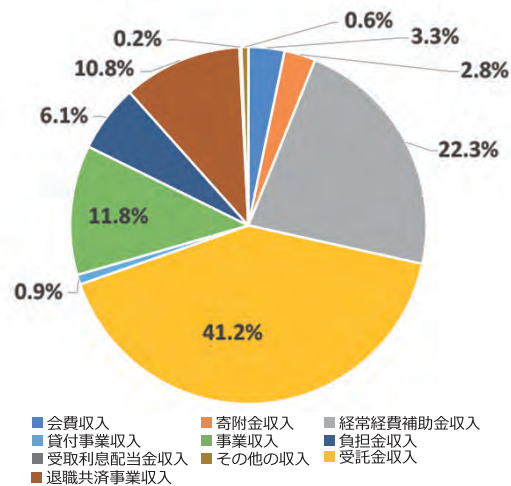
事業活動収入内訳

	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)
会費収入	23,711,000	23,534,600	176,400
寄附金収入	19,314,000	20,333,775	△ 1,019,775
経常経費補助金収入	164,670,000	160,087,200	4,582,800
受託金収入	295,251,000	295,183,362	67,638
貸付事業収入	4,821,000	6,344,158	△ 1,523,158
事業収入	85,340,000	84,224,567	1,115,433
負担金収入	42,184,000	43,772,099	△ 1,588,099
退職共済事業収入	59,536,000	77,418,343	△ 17,882,343
受取利息配当金収入	1,297,000	1,293,231	3,769
その他の収入	1,199,000	4,480,923	△ 3,281,923
事業活動収入計	697,323,000	716,672,258	△ 19,349,258

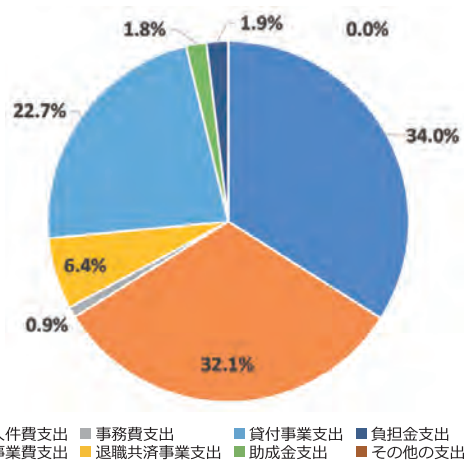
事業活動支出内訳

	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)
人件費支出	299,219,000	310,465,059	△ 11,246,059
事業費支出	300,598,000	293,537,571	7,060,429
事務費支出	8,361,000	8,630,971	△ 269,971
退職共済事業支出	41,058,000	58,690,136	△ 17,632,136
貸付事業支出	248,914,000	207,321,234	41,592,766
助成金支出	16,587,000	16,697,743	△ 110,743
負担金支出	18,032,000	17,723,659	308,341
その他の支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計	932,771,000	913,066,373	19,704,627

事業活動収入内訳



事業活動支出内訳



賛助会員ご紹介

令和元年 8 月 31 日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございました。

(敬称略・順不同)

企業・団体	株式会社佐伯建設	有限会社寺司装備
新日本法規出版株式会社 福岡支社	名鉄観光サービス株式会社 大分支店	医療法人社団親和会
医療法人社団仁泉会 畑病院	医療法人英然会 里見医院	一般社団法人分県建設業協会
社会保険労務士事務所SRI	株式会社電子印刷センター	大日商事株式会社
大分電子工業株式会社	医療法人社団三杏会 仁医会病院	丸果大分大同青果株式会社
ライフホームまなひ	特定非営利活動法人ゆうゆう	特定非営利活動法人銀河鉄道
医療法人向心会 大貞病院	有限会社福 小池原福招苑	一般社団法人 大分県医師会
玖珠工業株式会社	濱田重工株式会社 大分支店	一般社団法人分県歯科医師会
杉谷診療所	公益社団法人分県理学療法士協会	医療法人社団唱和会 明野中央病院
医療法人社団内尾整形外科医院	株式会社大分銀行	一般社団法人生命保険協会 大分県協会
株式会社オー・ビー・シー	株式会社三想	大分県済生会日田病院
富国生命保険相互会社 大分支社	社会福祉法人玖珠会	特定非営利活動法人ホビータイム
有限会社大分エンゼル商事	株式会社テレビ大分	三井住友信託銀行株式会社 福岡天神支店
医療法人鶴友会 老人保健施設メディピアこが	有限会社明友	一般社団法人分県市医師会
医療法人鶴山会 秋山医院	日本電通株式会社 大分営業所	大分県商工会議所連合会
株式会社豊和銀行	サーマエンジニアリング株式会社	有限会社後藤企画
大分県司法書士会	グローバルライフ生石	大分ゼロックス株式会社
有限会社ワイズケア	東九州設計工務株式会社	医療法人岡仁会 大分共立病院
株式会社大分白屋	株式会社大分放送	医療法人慈愛会 向井病院
よしどめ内科・神経内科クリニック	大分朝日放送株式会社	株式会社アースアンドウォーター

個人	神本 紀武	伊東 雅人	西永 和夫	富高 義和	梅木 豊誌	石井 克典
白杵 清次	大津 幸江	平岡 祥子	河野 千代子	松田 重博	モジユンダル由美子	池辺 廣司

「あすぴあ倶楽部」

がスタートしました！

あすぴあおおいた(大分県身体障害者福祉センター)では、同じ趣味等をもつ者同士で交流したい、そうした場を提供してほしいといったセンター利用者の声を受け、今年度から共生社会実現に向けての取組みの一環として「あすぴあ倶楽部」を立ち上げることとしました。

「あすぴあ倶楽部」は、障がいのあるなしに関わらず趣味や娯楽を楽しむ場で、気ままに立ち寄り、一定の時間、皆でわいわいがやがやと過ごす、ゆる～い空間です。

合唱に向けて
準備中！



センターでは、これまでにない取組みということもあり、倶楽部の立ち上げに先立ち、去る5月26日に準備会を開催したところ、40名近くの方の参加があり、多くの方から、是非、参加して、色々な人と交流したいとの意見をいただきました。

早速、6月30日に、第1回目の「あすぴあ倶楽部」を開催し、20名の参加者が合唱や、絵画、切り絵、ゲームなどに興じていました。まだまだ、試行錯誤の連続ですが、今後とも参加者の思いに寄り添いながら、料理や楽器演奏、読書、スポーツなどによる交流の場としても活用していただけるよう、その充実に努めていきます。



切り絵に
夢中です！

「あすぴあ倶楽部」は、毎月末に1回、開催しています。詳しい日程などは、あすぴあおおいたのホームページでご覧いただけます。

<http://www.sc-oita.net/>

参加は自由です。是非、気軽にお越しください。
皆様の参加を職員一同、お待ちしております。

問合せ先 **097-558-4849** 担当:塩崎



静物画用に使った果物
です。後でみんな
おいしくいただきました！

『赤い羽根自動販売機』の設置協力者大募集!

～「赤い羽根自動販売機」とは～

「赤い羽根自動販売機」とは、飲み物を購入すると、売上の一部が販売業者等を通じて赤い羽根共同募金に寄付される仕組みの、赤い羽根のロゴが付いた自動販売機のことです。

設置者、購入者、地域社会のそれぞれにメリットがあり、寄付された募金は、地域の福祉活動に役立てられます。



設置者

- 1 販売業者から、売上の一部が支払われます。
- 2 企業の社会貢献とし、設置企業のイメージアップが期待できます。

※ 自動販売機は設置無料、管理、故障時の対応もすべて販売業者が行います。設置者の負担は、設置場所の提供と電気代(月平均3,000円程度)のみで

購入者

- 1 飲料水を購入するだけで手軽に募金もでき、地域の福祉活動へ貢献ができます。



地域社会

- 1 売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付され、地域の福祉活動に役立てられます。

- 一人暮らしの高齢者のつどい
- 子育て支援
- 障がい者就労施設への助成
- 災害時のボランティア活動支援 など



新規設置や設置先の紹介など、ご協力をお願いいたします!

大分県共同募金会ホームページにて、設置者の情報を掲載しています!

大分県共同募金会 赤い羽根自動販売機

検索

大分県共同募金会HP [http:// www.oita-akaihane.or.jp](http://www.oita-akaihane.or.jp)



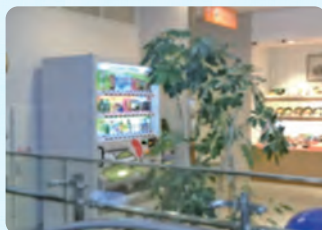
ご協力いただいた設置例



大分県立病院 様(バス停)



TOKIWA わさだタウン 様



大分空港ターミナル 様(3F)



九重観光サービス 様



県総合社会福祉会館(3F)



津久見市社会福祉協議会 様



玖珠町社会福祉協議会 様



宇佐市民自治研究センター 様



社会福祉法人
大分県共同募金会

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号
(大分県総合社会福祉会館3階)

TEL 097-552-2371 FAX 097-552-6250
E-mail kyoudoubokin@oita-akaihane.or.jp
WEB www.oita-akaihane.or.jp



福祉があなたを待っている!

～介護・保育の再就職準備金貸付のお知らせ～



離職介護人材再就職準備金

介護職員等※として働いた経験のある方が、介護保険サービス事業所に再就職する際に、必要な資金を貸し付けます。また、再就職をした日から2年間業務に従事した場合は、返済が免除になります。

貸付金額 20万円以内

※介護職員等とは、介護保険サービス事業所において介護職員、訪問介護員として従事する事を指します。

保育士就職準備金

保育士資格を持っているが、保育士として勤務していない方が、大分県内で保育士として再就職する際に、必要な資金を貸し付けます。また、再就職をした日から2年間業務に従事した場合は、返済が免除になります。

貸付金額 40万円以内

問合せ先

各貸付には条件があります。詳細はお問い合わせください。

福祉資金部

TEL 097-515-7771 FAX 097-515-7772



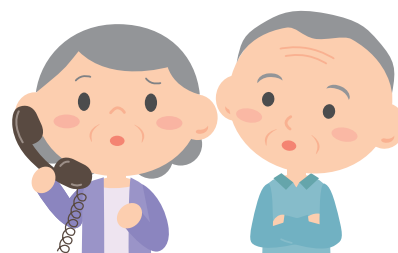
社協の〇〇ですが、お一人暮らしですか？

アポ電

社協を名乗る電話にご注意!

大分県内で「社協を名乗る不審電話」が相次いで発生しています。いずれも高齢者を狙って発生しており、高齢者が確実に自宅にいる時間帯(朝10時までの時間や夕方15時以降など)を狙ってかけてきています。

電話は「ハマダ」と名乗る中年男性からかかることが多く、優しい口調で話しかけてくるため、つつい話をしてしまう危険性があります。



「困っていることはないか」

「預金残高はいくらあるのか」

「家族は何人いるのか、仕事はしているのか」等の個人情報を聞き出そうとします。

社会福祉協議会ではこういった電話での個人情報の聞き取りはいたしません。

これは「**アポイントメント詐欺**」の可能性がありますので、電話があった際には、十分に注意してください。

また、このような不審電話がありましたら、まずは警察に相談し、お住まいの市町村行政や市町村社協まで連絡をお願いします。

